

# 育てよう 鏡野のよい子シリーズ



## 本気ですること

一年前映画化された朝井リョウの小説『何者』には、就職活動でなかなか内定がもらえない社会の厳しさを突き付けられる大学生の心理が描かれている。読んでいるとこちらまで気持ちひりひりしてきそうな物語だ。目の前の子どもたちもいか様な厳しさに出会うことになるのだろうか。

今、学校では社会の激しい変化に流されることなく、柔軟にたくましく対応し、社会人として自立していくための教育が求められている。めざすのは、未来に向けて「生きて働く力」である。

では、生きていくために必要な力とは何だろう。必要な力は、生き方によって全く違うから、一言で言い切れることは難しい。ただ、共通して言えることもある。そのひとつが「本気で」すること。

人はいつの間にか無意識に、自分にとってより大事なものを選んでいく。そうして選んだ大事なことに力を注ぐために「本気」を使う。夢中になっ

て何かに取り組んでいくうちに、「本気」の姿に出会うことができる。

私は今年度も我が校の運動会で、子どもたちの「本気」を見た。毎年このことながら感動する。子どもたちだって、ちゃんと選んでいる。「やりなさい」と言われただけで頑張れる子どもなんていない。家族にどんな演技を見てもらいたいのか、どんな自分になりたいのか、問いかげながら練習をする。自分なりの目標をもって夢中で取り組むうちに本気の自分に出会い、広い運動場で力一杯の自分を出すことができていく。

そして奥津の子どものやる気を支えてくれるのは、運動会の最後に踊る奥津音頭だと感じる。家庭・地域の方々合わせ、児童数の約二倍の参加人数で大きな輪ができる。大きな輪から、子ども達を支えてくれる暖かい力を感じる。これからも、この支えが子どもたちの「本気」を支えてくれる。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野町立奥津小学校 田中博子

## のびのびひろば

### お姫様に変身!

家族参観日に親子コスチューム作りをしました。「エレナの服が作りたい!」「私はアイドル!」など作りたいコスチュームを親子で考えながら、ママ達はもちろんパパ達も悪戦苦闘しながら作りました。カラービニールや不織布、キラキラテープなど、いろいろな材料を使って世界に一つのかわいいコスチュームができましたよ。



はい!  
ポーズ!!

ファッションショー~

出来上がったコスチュームを着て曲に合わせてポーズを決めると、おじいさん・おばあさんから拍手喝采! 楽しいファッションショーになりました。

私のドレス、  
素敵でしょ♪

上齋原幼稚園